

36

丙  
二〇六八

立案	昭和	年	月	日
決裁	昭和	年	月	日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

故陸軍中佐小林武志外五名位階追授  
ノ件

昭和 年 月 日  
裁可 年 月 日  
達  
日官報報告済  
臺帳記入月

詳令八月十四日

裏面白紙

177





故陸軍中佐小林武志外五名位階追陞ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年八月十一日

内閣總理大臣小磯國昭



内

閣



人陸位第九一二號

案起  
昭和十九年八月

日  
裁可  
昭和十九年八月十一日  
施行

昭和  
年  
月  
日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

件 故陸軍中佐小林武志外五名位階追陞ノ

例文 辭令案

内閣

裏面白紙



叙從五位

昭和九年三月十日死亡

故陸軍中佐正六位小林武志

昭和八年二月廿八日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

叙正五位

昭和九年四月十七日死亡

故陸軍大佐從五位調所賢輔

至七年十二月廿五日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ奏ス

昭和九年七月 日

陸軍大臣 杉山 元



陸 軍



叙正五位 昭和十九年四月廿四日死亡 故陸軍大佐從五位橫田熊次郎

三十二年十月廿五日 陸軍歩兵少尉 以來在職十年以上

叙正五位 昭和十九年五月三日死亡 故陸軍大佐從五位龍頭 繁登

大正九年三月廿五日 陸軍歩兵少尉 以來在職十年以上

叙從五位 昭和十九年五月三日死亡 故陸軍中佐正六位沖野 義男

昭和三年十月廿六日 陸軍工兵少尉 以來在職十年以上

右文武官叙位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年七月 日

陸軍

陸軍大臣 杉山 元



めくれず



叙正五位

昭和十九年六月三日死亡

故

陸軍大佐 從五位

久保添晴木

大正六年十二月廿五日 陸軍歩兵少尉 以來在滿十年以上

右文武官叙位進階内則第 11 條ノ二ニ依リ

謹テ奏ス

昭和十九年七月 日

陸軍大臣 杉山 元



陸 軍



裏面白紙

陸位第八八四

殺位ノ件進達

昭和十九年七月 日

陸軍大臣 杉 山

元

内閣總理大臣 小磯 國 昭 殿

故 陸軍中佐 小林武志外一名位階追陞ノ件

右進達ス

進ニ 小林武志外一名ハ何レモ戦死ヲ遂ゲ

タル

慶富時通信連絡ノ不備ニ基因シ之カ難認ニ

日子ヲ要シ文武官殺位進階内則所定ノ取扱期限ヲ超過シタル次第  
ナルモ特ニ昭和十二年八月二十一日附閣議第三九七號通達ノ主旨

ヲ適用セラレ三日前附ヲ以テ發令方取計相成度

官報不立載

陸軍



めくれず

裏面白紙

陸軍第八五二

敍位ノ件進達

昭和十九年七月 日

陸軍大臣 杉山 元

内閣總理大臣 小磯 國 昭 殿

故陸軍大佐 横田熊次郎外ニ名位階追陞ノ件

右進達ス

追テ横田熊次郎外ニ名ハ何レモ戦死

ヲ遂ケタル 處當時通信連絡 不備ニ基因シ之カ確

認ニ日子ヲ要シ文武官敍位進階内則所定ノ取扱期限ヲ経過

シタル次第ナルモ特ニ昭和十二年八月二十日附閣議第三九七號通

牒主ニヨリ適用セラレ生前ノ日附ヲ以テ發令方取計相成度

陸軍

184  
19.7.25  
付



めくれず

裏面白紙

八五三

微位一件進達

昭和十九年七月 日

陸軍大臣 杉山 元

内閣總理大臣 小磯 國昭 殿

故陸軍大佐 久保添晴木 位階追陞一件

右進達

追テ久保添晴木ハ滿洲方面ニ於テ陣

歿セル 處當時進給且之カ確認ニ日子ヲ要シ文

武官叙位進階内則所定ノ取扱期限ヲ経過シタル次第ナルモ特

ニ昭和七年三月十八日附閣議第二九〇号指令ノ主旨ヲ適用セラレ生前

ノ日付ヲ以テ奉令セララルル様取計相成度

陸軍

185  
19.7.25  
授



丙發三九號

一故陸軍大佐 銜五位 調所 賢 輔 外 五 名

右 特旨ヲ以テ 敘位相成候條 此旨及傳達候位記並  
辭令ハ追テ可及回送候也

昭和十九年 八月 十四日

宗秩寮總裁子爵武者小路公共

陸軍大臣 杉山 元 殿

陸軍大臣 杉山 元 殿 (時令八月十四日)

陸軍大臣 杉山 元 殿 (時令三月十一日)

陸軍大臣 杉山 元 殿 (時令四月十七日)

陸軍大臣 杉山 元 殿 (時令五月三十一日)

陸軍大臣 杉山 元 殿 (時令六月三日)

宮 内 省

昭和十九年八月十四日



宮内省

八月三日	(號日六日三日)	林
八月五日	日	林
八月八日	日	林
八月十一日	日	林
八月十四日	日	林
八月十七日	日	林
八月二十日	日	林
八月廿三日	日	林
八月廿六日	日	林
八月廿九日	日	林
八月卅一日	日	林

宗拜寮懸懸千爾瓦普小淵公共

御味十六年八月十四日

宗拜寮懸懸千爾瓦普小淵公共

御味十六年八月十四日

續命八能之何及回致廻也

本[ ]持旨之以之錄於時知廻糾此旨及對義廻於信位

一姑對軍大也其五其歸所實藤十五

丙

八五二

丙 八五二